写

22消安第7279号
平成22年12月6日

各都道府県畜産主務部長 殿

農林水産省消費・安全局動物衛生課長

韓国における口蹄疫の発生に係る情報等の周知状況の確認及び家きん
飼養農場への飼養衛生管理基準の指導について

韓国における口蹄疫の発生については、「韓国における口蹄疫の発生について」（平成22年11月29日付け22消安第7132号農林水産省消費・安全局長通知）により畜産農家をはじめ関係機関・団体に周知し、侵入防止に万全を期すようお願いしたところです。

また、島根県における高病原性鳥インフルエンザについては、「島根県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜確認に伴う監視体制の強化（立入検査による野鳥等の侵入防止対策の確認・指導）について」（平成22年12月1日付け22消安第7201号農林水産省消費・安全局動物衛生課長通知。以下「体制強化通知」という。）により、「高病原性鳥インフルエンザの防疫対策の強化について」（平成22年9月28日付け22消安第5610号農林水産省消費・安全局長通知。以下「対策強化通知」という。）の対象農場について改めて、立入りによる飼養衛生管理状況の確認・指導を徹底するようお願いしたところです。

その後、韓国において口蹄疫の感染が拡大していること、島根県における鳥インフルエンザウイルスが強毒タイプであり、本年10月に北海道で野生のカモの糞から分離されたウイルスと極めて近縁であることが明らかになったこと等を踏まえ、下記の事項につきまして、改めて周知・徹底いただきますようお願いいたします。

記

1 韓国における口蹄疫の発生に係る情報等の周知状況の確認

今般、別紙1のとおり畜産農家向けパンフレットを作成いたしましたので、これをもとに再度、畜産農家及び関係機関・団体に周知し、侵入・まん延防止に万全を期すようお願いいたします。

また、周知の状況につきまして、別紙2の調査表に基づき、平成22年12月28日（火）までに農林水産省消費・安全局動物衛生課（以下「動物衛生課」という。）まで報告いただきますようお願いいたします。

なお、別紙1については、当省ホームページに掲載する予定となっておりますの

で、掲載次第、別途御連絡いたします。

2 家きん飼養農場への飼養衛生管理基準の指導について

- (1) 立入りによる飼養衛生管理状況の確認・指導に当たっては、動物衛生課が監修を行った別添の「高病原性鳥インフルエンザの発生を防止するために～飼養衛生管理チェック表とポイント～」を強化通知対象農場の全家きん飼養農場へ配布いただき、分かりやすく指導の上、特に防鳥ネットに破れ・隙間等がないか等について御確認いただきますようお願いいたします。なお、既に本パンフレットを配布の上、特段問題がないことを確認している農場については、この限りではありません。

また、本パンフレットにつきましては、既に当省ホームページに掲載されておりますので必要に応じて御活用ください。

アドレス：http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/pdf/ai_eisei_check1.pdf

- (2) なお、特に防鳥ネットの破れ・隙間等の確認を中心とした飼養衛生管理状況の確認・指導の徹底につきましては、体制強化通知によりお願いしていますが、その結果を「島根県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認に伴う監視体制の強化について」（平成22年11月30日付け22消安第7131号農林水産省消費・安全局動物衛生課長通知）に定める別紙様式により、平成23年1月11日（火）までに御報告いただきますようお願いいたします。